

令和6年度 文京区立林町小学校 授業改善推進プラン

音楽

	指導上の課題の分析	授業改善の具体的方策	評価（成果と課題）
1 年	<ul style="list-style-type: none"> ○音楽への意欲が高いが、音を出した後教員の話に注意を傾けるのが難しい。 ○45分間集中力を保つのが難しい。意欲があっても最後まで続かない。 ○授業中に立ち歩きをしてしまう児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○指示出しは口頭だけではなく、イラストやパワーポイント等も使い、視覚的情報も活用する。 ○授業のはじめに本時の学習予定を時系列で提示し、見通しをもった授業を展開していく。 ○担任、学習支援員と連携をとり、音楽に苦手意識がある児童にも配慮をしつつ授業を進めていく。 	
2 年	<ul style="list-style-type: none"> ○音を出す時、話を聞く時の切り替えがすぐにできない児童が一部いる。 ○歌唱の際に恥ずかしがり、大きな声で歌うのをためらう児童が出てきている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○指示出しは口頭だけではなく、イラストやパワーポイント等も使い、視覚的情報も活用する。 ○電子キーボードや歌唱の音源を活用し、声を出すのに不安にならない環境を作っていく。うまく歌えたときは大げさに褒めるなどして、児童の意欲を教員がもっと高められるよう努力していく。 	
3 年	<ul style="list-style-type: none"> ○学習に意欲的に取り組んでいるが、歌唱の学習では曲想に合った表現を考えたり声の出し方を工夫したりすることが難しい児童がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○楽曲に合った表現力をのばすことができるように、様々な歌唱法を鑑賞させることで、表現の方法や重要性が理解できるようにする。 	

	指導上の課題の分析	授業改善の具体的方策	評価（成果と課題）
4年	<p>○意欲があり、自らすすんで音楽活動する児童が多い。グループ活動の場では、友達と協働し、ねらいに沿って学習することも概ねできる。課題としては、音楽を形づくっている要素について知覚・感受したことを言葉にすることが難しい児童がいる。</p> <p>○既習内容が積み重なっていない児童がいる。また、一部の児童が離席や学習に参加することが難しい。</p>	<p>○座席表を用いて、児童の学習状況を丁寧に見取ったり、学習カードで児童の思考を丁寧に見取ったりして、個別指導の手立てとして生かす。</p> <p>○リコーダーの奏法に関しては、3年の指導内容から確認する。また、指導内容が適切に伝わるように、話の聞かせ方、聞き方の指導を徹底する。</p>	
5年	<p>○関心・意欲が高く、自らすすんで友達と協働して音楽活動することができる。また、話し合いの場では、ねらいに沿って話し合うことができるが、表現したい音楽を生かすための技能面に課題がある児童がいる。</p>	<p>○個に応じた指導をすると同時に、教師が教えるだけでなく、ペアやグループ活動の場を設定し、友達と対話し協働しながら学習を積み重ねていけるようする。</p>	
6年	<p>○関心・意欲が高く、自らすすんで友達と協働して音楽活動することができる。音楽を形づくっている要素の知覚・感受は概ねできるが、それを関連付けることに課題がある。</p>	<p>○学習カードで児童の思考を見取り、適切に個別指導をしていくと同時に、児童が音楽から知覚・感受したことを関連付けて考えることができるように教師の発問や、価値付け、板書、掲示物の工夫をする。</p>	